

障害者施設商品の計数管理セミナー①

日時： 2015 年 10 月 7 日

場所：梅田スカイビル タワーウエスト 2 2 階 会議室

【概要】

柏木氏自己紹介

企業経験者 22 年大手スーパー勤務

以後福祉職員に 厚生労働省にて生活困窮者の生活や就労支援の検討会

農林水産省にて地域における食と農と福祉について検討 身内に障害者あり

企業と就労支援事業の違い

事業を計画的に実施できる人材がいなかった

予算計画がない 計数管理ができていない 営業ができていない 対策会議がない

成果が悪くても平気 責任があいまい 自己改革しない 部下を叱らない

→変えようと行動

反発 職員の仕事がかかり忙しく・・・「お金儲けがすべてではない」

これが 15 年前

作業所と企業は同じ運営方法では無理

障害者は特性がさまざま 個別支援、個人に応じた目標が必要

職員に潤いがなければすまない

→福祉の作業現場を十分考慮した上で企業の手法で必要なものを取り入れる

○計数管理の基礎

利益は利用者に対する社会的責任 経済的自立なくして生活の自立はありえない

作業所で作っている商品の値段はどうきめているか？

売価とは・・・お客様が納得して買う値段

市場の調査が必要

原価に利益を積み上げて決める

一般市場や企業へ営業 商談会にも参加 酷評されて成長

・原価とは 仕入原価・製造原価

作業所の場合は職員の人件費等の経費を福祉事業収入でまかなっているため製造原価に入れない場合も。そのかわり利用者工賃は最重要項目

原価率 = 原価 / 売価

原価 1 / 3 が適正

・歩留り率と原価

歩留り率とは販売できる部分がどれだけあるかの率

(製造原価計算において必要になることが多い)

・値入高と値入率

値入高とは売価と原価の差額

値入率とは 値入率 = 値入高 / 売価

値入率の高い商品を売ると利益は上がる

・原価が分かっているときの売価の計算

売価を出す公式 売価 = 原価 / (1 - 値入率)

【参加者の声】

印象に残ったこと

- ・麦の郷さんがすごい仕事をされていること
- ・難しいと思われがちな数字や計算方法ですが、わかりやすかった
- ・これまであまり考えていなかったことが非常に大切なことだと気づいた。
- ・もう少し自分の作業所の製品の原価などを知る必要があると思った。
- ・歩留まり率、値入率など初めて聞く単語でしたが、その意味や必要性がよくわかった。
- ・柏木さんが過去に苦労された話が印象的。もう少し聞きたい。
- ・売価を出す公式を覚えます。
- ・普段馴染みの計算ばかりで参考になった。
- ・基本的な売価の設定の勉強になった。
- ・とにかく「慣れること」。いかに苦手な数字から目を背けてきたのかと実感。
- ・「歩留まり率」全く考えたことがなかったので、見直してみたい。

感想

- ・普段耳にしないことが多く驚いたが、「値入率」について理解できた。再度見直し理解を深めたい。
- ・とてもわかりやすく、次回も楽しみです。